

(23) 大学改革戦略会議

① 設置の趣旨（目的）及び組織

ア 組織設置の趣旨（目的）

大学改革戦略会議は、教育研究評議会の専門委員会として、上越教育大学の教育及び研究等の機能強化に向けた検討を行い、その改革、改善案を策定することを目的に平成28年4月に設置された。

イ 組織の構成及び構成員等

大学改革戦略会議は、学長、学長が指名した理事（非常勤を除く。）、学長が指名した副学長、学長が指名した教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、その他学長が指名した者若干人から組織されており、平成28年度は計16人の構成とした。

② 運営・活動の状況

ア 委員会等の開催状況

平成28年度は以下のとおり11回開催した。

- ・ 第1回 平成28年4月20日（水）
- ・ 第2回 平成28年5月25日（水）
- ・ 第3回 平成28年6月20日（月）
- ・ 第4回 平成28年7月7日（木）
- ・ 第5回 平成28年7月27日（水）
- ・ 第6回 平成28年9月5日（月）
- ・ 第7回 平成28年9月20日（火）～26日（月）（書面審議）
- ・ 第8回 平成28年9月28日（水）
- ・ 第9回 平成28年10月31日（月）
- ・ 第10回 平成29年2月1日（水）
- ・ 第11回 平成29年3月10日（金）

イ 審議された主な事項

平成28年度の主な審議事項は次のとおりであった。

- i) 第3期中期目標期間における大学改革
- ii) 「21世紀を生き抜くための能力+ α 」育成のための取組

ウ 重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

i) 第3期中期目標期間における大学改革

第3期中期目標期間中の大学改革について、具体的な検討を進めるため、本会議にワーキンググループを設置し、検討を行った。特に大学院改革の基本構想について、中央教育審議会答申や文部科学省との意見交換内容等を踏まえ、全国の大学に先駆けて修士課程を全面的に専門職学位課程に移行させることを基本構想として重点的に審議を行い、「大学改革基本構想」を策定した。

ii) 「21世紀を生き抜くための能力+ α 」育成のための取組

本学が第3期中期目標において目標の一つとしている「21世紀を生き抜くための能力+ α 」の育成をさらに実践的に図り、社会に還元するための取組として、前年度に作成した内部資料をリライトした「思考力」育成の具体策等をまとめた冊子に加え、「実践力」育成のための具体策等をまと

めた冊子及び「思考力」、「実践力」それぞれの実践レポートをまとめた冊子を出版することとした。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

ア 優れた点

今年度は「重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等」で述べたとおり、

- i) 第3期中期目標期間における大学改革
- ii) 「21世紀を生き抜くための能力+ α 」育成のための取組

について検討を進め、「第3期中期目標期間における大学改革」については「大学改革基本構想」を策定し、「21世紀を生き抜くための能力+ α 」育成のための取組については、冊子の出版に向け具体的な内容を決定した。

イ 今後の検討課題

平成28年度限りで大学改革戦略会議が廃止となり、平成29年度に新たに教員組織である学系及び教育組織である専攻の代表者を委員とした「大学改革推進委員会」が設置されることとなった。

第3期中期目標期間における大学改革に関し、平成28年度に策定した「大学改革基本構想」を踏まえ、教員養成大学・学部モデルとなる革新的かつ具体的な実施内容の検討・決定について、同委員会で取り組んでいく必要がある。